



# 月一だより

中央区立 月島第一小学校  
平成30年11月 NO.442

## 行事を通して学ぶもの

校長 荒川 比呂美

日本列島の北から、紅葉前線の便りが、テレビのニュース等で流されるようになり、秋本番となりました。10月3日の運動会には、延期に伴い平日の開催となったにもかかわらず、多くのご来賓、保護者、地域の方々にご来校いただき、子供たちに温かな声援とたくさんのお拍手をお送りいただきました。ありがとうございます。また、PTA役員、おやじの会の皆様には、早朝より会場準備等にご協力いただき、受付や誘導、警備、後片付けに至るまで大変お世話になりました。皆様のご協力、ご支援により開催できましたこと、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

プール納めの後、本格的に各学年の練習がスタートしましたが、前半は残暑が厳しく、後半は天候不順で、校庭での練習が計画通り進まない状況でした。そんな中、子供たちは、それぞれにいろいろな思いをもってがんばっていました。リズムや動きを休み時間や放課後、家でも練習していた子がいたと聞きました。勝つためにはどうしたらいいか、友達と作戦を練っている様子も目にしました。演技や競技の練習を重ねていく中で、できなかったことができるようになり、それが喜びや自信につながった子もいます。また、がんばりが形となって表れず、悔しい思いや不安な気持ちと闘っていた子もいたはずです。「心を一つに全力を出そう！最後まであきらめない運動会」のスローガン通り、一人一人が主役となり、自分の役割に誇りをもって、みんなを信頼し作り上げたとても素敵な運動会でした。

運動会という一つの行事を通して何を学んだかは、子供たちそれぞれで違うでしょうが、きっと周りの大人が期待する以上に、今後につながる大きな成長を見せていると思います。月一の子の心と体の健やかな成長を力強く支えられるよう、さらに指導の充実を図っていきます。

11月の生活目標

仕事は協力してやりましょう。

### 展覧会にむけて

図工専科 岡部 哲

いよいよ、今月15日(木)、16日(金)、17日(土)に迫った展覧会に向け、子どもたちが活気にあふれる活動をしています。今回の展覧会のテーマは、日々の図工の姿から、『たのしい うれしい 手づくりの世界』とし、自分で創造することの楽しさを感じながら活動しています。

先日の授業中、「先生！3年ぶりによくできたよ。」という子が絵を持ってきました。見ると無数の筆跡が擦れた線で描かれています。水を控えてダイナミックに筆を動かすと、風を表すのに最適だということを見つけて、それがテーマとともに絵に結実した瞬間でした。こんな時に、子どもたちは自分の行為に意味や価値を見出し、深く学ぶことができます。図工は単に技能や構想などの力を磨くだけの時間ではありません。自分で試行錯誤しながら見つけたものは、誰かに言われたり教えられたりしてつくったこと以上に価値があります。一見、見栄えが悪い、余白だらけと感じるような作品にも、子どもなりの学びがあります。ご家庭では、ぜひ事前に、お勧めのポイントやどんなことが楽しかったかをインタビューしてください。そして、どのような試行錯誤をしたのかに想像をめぐらせてご鑑賞いただければ、これ以上の展覧会はありません。

### 本栖移動教室について

第6学年担任 板橋 望美

本栖移動教室は6年生にとって忘れることのできない最高の思い出となりました。

10月10日から12日の2泊3日、6年生は本栖移動教室に行ってきました。初日は快晴で富士山に登ることができ、美しい景色を望むことができました。富士サファリパークでは、間近に見る動物たちに子どもたちは大歓声を上げ、目を輝かせていました。夜は紅白歌合戦で大盛り上がり。楽しいひとときを過ごしました。2日目も晴天に恵まれ、三湖台の登山では子どもたちが声をかけあって、全員で頂上に登り、皆でおいしくお弁当を食べることができました。牧場では搾乳体験や掃除、えさやりを体験させていただき、長年酪農に携わっているご主人から「命の大切さ」「命のつながり」について教えていただきました。夜のナイトウォークでは外灯のない林の中を懐中電灯を片手に散策しました。3日目もバードコールを作ったり、溶岩樹形を見学したり、ぶどう狩りをしたりと自然いっぱいの生活を満喫することができ、本当に実り多い移動教室になりました。

6年生はこの楽しい思い出を胸に、全員で心一つにして卒業に向けて進んでいきます。

